

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	144	1年	前期	臨床検査学科	必修	人体の構造・機能Ⅰ（共通） Human Anatomy and Physiology Ⅰ	30	1
担当教員								
脇坂 浩之								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
○	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
○	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
<p>医療従事者として、疾病の理解が正確にできるように、あるいは医師、薬剤師、理学療法士、介護福祉士などのスタッフと密な連携をとって行動できるようになるために人体の各分野の構造と機能についての知識を獲得し、医療に携わるうえで必須である正常な人体の構造と機能を解剖学的、生理学的に正確に説明できるようになる。</p> <p>特にこの科目では、生命と恒常性、骨格・骨・関節、神経系（中枢神経、末梢神経）、筋（骨格筋・心筋・横紋筋）の分布と構造およびその働きなどについて説明できるようになる。</p>								
到達目標（授業目標）								
	① 人体を構成する各要素（細胞・組織・器官）とホメオスタシスが説明できる。							
	② 骨の分布と種類、名称、構造と機能について説明できる。							
	③ 関節の分布と構造、機能について説明できる。							
	④ 筋の分布と種類、名称、機能について説明できる。							
	⑤ 筋収縮のメカニズムについて説明できる。							
	⑥ 神経の分布と名称、構造、機能を説明できる。							
	⑦ 中枢神経、末梢神経の構造と機能について説明できる。							
	⑧ 錐体路について説明できる。							
	⑨ 自律神経の構造と機能について説明できる。							
	⑩ 体液の量と組成、体液の調節（体液量、電解質バランス、浸透圧）を説明できる。							
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	総論：人体の構造と機能の総論について講義する。							
2回	生命と恒常性（1）：細胞・組織・器官および生命活動について講義する。							

3回	生命と恒常性（2）：細胞膜の構造、物質交換のメカニズム、静止膜電位、閾値、体内のイオンの分布について講義する。									
4回	生命と恒常性（3）：体温調整などホメオスタシス、サーカディアンリズムについて講義する。									
5回	運動器系（1）：骨の構造と機能、骨格、骨の分布総論について講義する。									
6回	運動器系（2）：脊柱、胸郭、上肢帯、上肢、下肢帯、下肢の骨の名称、構造と機能について講義する。									
7回	運動器系（3）：骨盤、頭蓋の骨の名称、関節の分布と構造、筋の構造と機能について講義する。									
8回	運動器系（4）：体幹、背部、上肢、下肢の筋の構造と機能について講義する。									
9回	運動器系（5）：頸部、顔面の筋肉の分布と名称、構造と機能、筋の種類、収縮のメカニズムについて講義する									
10回	神経系（1）：神経系の総論、分類、機能について講義する。									
11回	神経系（2）：中枢神経系：大脳の構造と分類および機能、中枢神経系を守る仕組みについて講義する。									
12回	神経系（3）：中枢神経系：脳幹、小脳、脊髄の構造と機能について講義する。									
13回	神経系（4）：末梢神経系、脳神経、脊髄神経の分布、名称、機能、筋への支配について講義する。									
14回	神経系（5）：運動神経および感覚神経の伝導路について講義する。									
15回	神経系（6）：自律神経系について講義する。									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
成績は筆記試験で100%評価する。試験は100点満点とし60点以上を合格とする。										
教科書	下正宗ほか 「コアテキスト人体の構造と機能」 (医学書院)									
参考図書等										
授業時間外の学習について (授業準備のための指示)										
テキストを用いた予習・復習 (計1時間) が必須。										
関連科目										
前科目										
後科目	145	人体の構造・機能Ⅱ	156	臨床病態学Ⅰ(共	157	臨床病態学Ⅱ(共	160	臨床病態学Ⅴ		
実務家教員										
医師 (医療機関)	脇坂 浩之									
備考	授業前中に配布するプリント等を活用して、授業内容を「記憶」しているのではなく、「理解」できていることが自覚できるように学習してください。疑問点はオフィスアワー (学生専用ページから曜日時間を確認してください。) を活用して質問しに来てください。									